

JR西日本 2020.9～

Guttokuru-Sanin

グッとくる山陰

[特集]

地元の人々に救われ守られている

しあわせな
松江城2020 秋
Autumn

ご自由にお持ち帰りください

[山陰の逸品]

城下町の職人技が光る
松江のおみや

[グッとくるコラム]

松江城・その数奇な運命
～天守国宝指定5周年を迎えて～山陰いいもの探検隊 隊員
谷 夏海

【表紙写真】国宝 松江城天守

2015年7月8日、国宝に指定された「松江城」。松江城は「下見板張り」という黒い板で覆われており、狭間や石落としなどがあり実戦を意識したお城です。見る角度によって、石垣の組み方や白黒のコントラストの美しさを楽しむことも出来ます。また、天守は望楼型。最上階は360度松江市内を一望出来るのも魅力的です。この「質実剛健」とも言える構えが特徴の松江城、国宝に指定されるまでには紆余曲折がありました。明治時代、松江城は政府が発令した、「廃城令」により取り壊されそうになりました。しかし出雲市斐川町の豪農、勝部本右衛門・景浜親子らが私財を投じて松江城を買い戻し、取り壊しを回避します。(後に松江市へ寄付)

1935年に「国宝保存法」により国宝に指定されますが、1950年「文化財保護法」制定により国宝から重要



山陰いいもの探検隊 隊員

谷 夏海

谷 夏海

島根県松江市出身

2011年、松江開府400年祭をPRするために結成された「まつえ舞姫隊」のメンバーであり、松江観光ガイド「ちどり娘」の第1期メンバー。

文化財となります。それから65年、「祈禱札」の発見により松江城の築城の時期を証明する事ができ、松江城は再び国宝に指定されました。

このような数奇な運命を辿ってきた松江城は、先代の方々のお陰で今もほぼ変わらぬ姿で松江のシンボルとして残っています。今年、松江城は天守国宝指定5周年を迎えました。

今は新型コロナウイルスの影響で厳しい状況ではありますが、一刻も早い収束を願い、全国からたくさんの方々がこの松江城にお越しただける事を願っています。

松江城・
その数奇な
運命

天守国宝指定5周年を迎えて



WEST EXPRESS 銀河
2020.9.11 [Fri] Debut!

一文字家

「銀河」一番星弁当
1,500円(税込)

あれもこれも食べたいお客様の願いを叶えてくれる正に一文字家オールスター駅弁です。
販売場所:「一文字家」(シャミネ松江店内)(9:00~18:00)
※9月11日から発売(予定)

彩雲堂

鉄道羊羹 銀河
1,350円(税込)

広大な宇宙を駆け巡る特急列車の姿をイメージして創製した限定羊羹です。
販売場所:「彩雲堂シャミネ店」(シャミネ松江店内)(9:00~18:00)
「彩雲堂本店」(9:00~18:00)
「彩雲堂オンラインショップ」<https://netshop.saiundo.co.jp/>

[運行区間] 京都・大阪～出雲市(2020年9月～11月)
※伯備線・山陰本線の停車駅:備中高梁(上りのみ)、生山(下りのみ)、根雨(上りのみ)、米子、安来、松江、玉造温泉、宍道、出雲市

運転日・購入方法など詳しくは [ウエストエクスプレス銀河](#) 検索

グッとくる山陰 秋号

発行元/JR西日本米子支社 鳥取県米子市弥生町2
☎0859-32-0255 *記載の情報は、2020年9月1日時点のものです。

あなたの知らない山陰、更新中。

山陰いいもの 検索 右記コードからサイトへGO! →



松江城天守は、今年、国宝指定5周年を迎えました。

地元の人々に救われ守られている

しあわせな

松江城

松江城は、5年の歳月を費やし、城下町とともに

1611年（慶長16年）、堀尾吉晴によって築かれました。

以来、堀尾氏、京極氏、そして松平氏が10代にわたり統治。

この間、一度も戦乱に巻き込まれることなく明治維新を迎えています。

城主をなくした松江城は、その後、2度の苦境に立たされますが、

地元の人々の熱意と尽力によって、その都度、難局を突破。

松江城天守は国宝として、

今日も、城下町を見晴らす亀田山にそびえています。

最初の受難 —— 通称「廃城令」の発布

松江城天守は こうして救われた

新しい時代の扉が開くと、それまでのルールや価値観は一変します。日本では明治維新期の、1871年（明治4年）、全国の藩を廃止し府県を置いた政治的変革「廃藩置県」を機に、国内の城すべてが陸軍省の財産となりました。けれど、城の維持管理には莫大な費用も労力も必要です。そこで、軍用地として必要な城は「在城」として残り、それ以外は「廃城」とみなされて当時の大蔵省に売却用財産として引き渡されました。こうして、多くの城は解体され、驚くほどの安価で売却される運命をたどりました。

このとき、お米1俵が3円弱の時代、松江城天守につけられた価格は180円。ちなみに、世界遺産の姫路城天守につけられた価格は23円50銭だったといえます。

ですが、松江城天守も、姫路城天守も、威風堂々、今も見る者を圧倒しています。その理由は、各地の城が取り壊されていく中、日本の城には建築的・美術的価値があると唱える人たちが現れてくれたお陰。いち早く永久保存が決定し修理されたのは、姫路城や名古屋城などでした。

一方、松江城は、1875年（明治8年）、天守以外の建物の入札が行われ、4円〜5円で落札されて取り壊されています。利用できる釘や鋸などの金物は再利用され、木材は燃やされ、石材は壊されるしかなかったといえます。そして、天守の落札価格は180円。まさに風前の灯火といった状況でした。

そんなときです、松江から城がなくなってしまうことを惜しむ人々が立ち上がりました。元松江藩士・高城権八と、豪農・勝部本右衛門らを中心に、その頃、松江城を管理していた陸軍広島鎮台に直訴。入札額と同金額を納めることを条件に、買い戻すことに成功したのでした。

そして、1950年（昭和25年）には、松江市による大規模な解体修理がスタート。5年間の歳月を費やして、築城当時の姿を取り戻しました。

現在、国宝に指定される天守は、わずかに5城（姫路城・彦根城・犬山城・松本城・松江城）のみ。松江の宝は、地元市民の愛着と研究者の熱意によって、晴れて国の宝に加わったのです。



次なる受難

「文化財保護法」の制定

実は、松江城天守は、1935年（昭和10年）に当時の国宝保存法によって、国宝に指定されていきました。ところが、1950年（昭和25年）の文化財保護法の施行に伴い、重要文化財に指定名称が変更。その後、数度にわたり、国に対して国宝指定の陳情を行ったものの、実現することはありませんでした。

こうして、長らく重要文化財だった松江城天守ですが、2009年（平成21年）、満を持して「松江城を国宝にする市民の

確かに「慶長十六年」の文字が記されていました。次は、この札が本当に松江城天守にあったものかを証明しなければいけません。それは、各階の柱497本の中から、釘穴の位置が祈禱札と一致する柱を見つけるという気の遠くなるような作業になるはずでした。覚悟して臨んだ最初の柱は、地階と1階を貫く2本の通し柱。すると、ぴたりと一致。さらに、2本目も間違いなく一致。柱も、祈禱札も、この日を心待ちにしていたかのような奇跡的な出来事でした。

こうして、2015年（平成27年）、構造に関する研究成果も高く評価されて、松江城天守は国宝に再指定。市民と研究者の熱意が結実した、65年ぶりの快挙でした。



祈禱札

「慶長十六年」「正月吉祥日」の文字が認められる。このことから、慶長十六年の正月までにはすでに松江城天守が完成していたことが明らかになり、国宝指定の大きな要因のひとつとなった。

国宝

松江城天守の

ここが凄い！

会」が発足。翌年には約12万8千人分の署名を文化庁に提出。市の組織にも「松江城国宝化推進室」が立ち上がり、調査研究を進めます。さらに、所在不明になっている天守創建に関わる2枚の祈禱札の情報提供に、懸賞金500万円がかけられたほど。市民と研究者が丸となって、国宝再指定を目指したのです。

そして、ついに、その日が訪れます。2012年（平成24年）、松江城二之丸に鎮まる松江神社で2枚の祈禱札を発見。

松江城天守は、別称「千鳥城」と呼ばれる優美な姿。黒塗りの下見板張りが凛々しい、前面に附櫓をもつ4層5階、地下1階付の複合式天守です。1階の床面積447平方メートルは姫路城に次いで2番目の広さ。屋根には現存12天守の中で1番大きなシャチホコが飾られています。そして、内部には、他の城にはあまり見られない独特な技法・構造が凝らされています。まず地階に深さ約25mの飲料用井戸があつたり、階段に桐材が使われている箇所があつたりします。天守内に井戸があるのは、現存12天守のうち松江城天守だけの工夫です。井戸は籠城に備えてのものであり、軽量の桐材は取り外し可能で、床を閉じたら敵の侵入を防げるというもの。その他、石落としや鉄砲狭間などの防衛設備が施され、実戦に備えた天守であつたことがわかります。

天守最大柱

松江城天守最大の柱は、地階と1階を通して立てられた2本の通し柱。国宝指定の決定打となった祈禱札が、この柱の地階部分に打ち付けられていたことから、天守の軸組構造の中で最も大切な柱として重要視されていたことがわかる。



さらに、最大の特徴のひとつといえるのは、2階分ずつの通し柱を多用した構造。それは、柱の位置をずらしながら組み上げて、荷重を分散させるという先進的な建築技法で、松江城以降に築城された大阪城や名古屋城の天守にも採用されています。また、使用されていた一部の材木に「富」の字の刻印が見つかり、松江城の前身である月山富田城から運ばれて再利用されたもの

と判明。松江城天守は、大木を必要としない通し柱しかり、再利用した材木しかり、今というサステナブルな建築の先駆けだったと思えてくるのです。

松江城のたもとの大手前広場では遊覧船の乗船場が、今夏リニューアルオープン。城下町散策に新たな彩りを添えています。また、いよいよ9月11日にデビューする「WEST EXPRESS 銀河」もここ松江に停車。城下町ならではのおもてなしも準備されています。

400有余年の間、美しい水の都を見晴らしてきた松江城。たとえ時代がどんなに新しくなっても、かけがえのない財産として変わらずそびえ続けるのでしょうか。



天守の井戸



石垣と堀尾吉晴公の銅像

国宝 松江城天守

島根県松江市殿町1-5
アクセス：JR松江駅よりレイクラインバスで約10分
お問い合わせ：TEL 0852-21-4030

「WEST EXPRESS 銀河」のデビューを記念し、魅力いっぱいの「おもてなし」で皆様のお越しをお待ちしています。



まつえ若武者隊による
お出迎え・お見送り(平日のみ)

「WEST EXPRESS 銀河」の
到着・出発に合わせて、松江駅で、
お出迎え・お見送りをします。



ぐるっと松江レイクラインバス
「一日乗車券」プレゼント

「WEST EXPRESS 銀河」ご乗車のお客様に、
松江観光に便利な「ぐるっと松江レイクラインバス」の
1日乗車券をプレゼントします。

出雲民藝紙の 新たな可能性



小さな花のイヤリング・ピアス 1,500円(税抜)
羽のイヤリング・ピアス 1,300円(税抜)
※取扱いの色には限りがあります。

【取扱店】
○松江駅のおみやげ楽市



Atelier Haruuro
https://tsuku2.jp/atelierharuuro



島根県松江市八雲町で、全ての工程を手作業にこだわり生産される手漉き和紙の出雲民藝紙。近年、手漉き和紙を活用する機会が減り、後継者や原料、紙漉き道具の作り手の減少が課題となっています。この大切な文化を守り、出雲民藝紙を未来に伝えたい強い思いから、atelier Haruuroでは、和紙の新しい使

い方の提案としてアクセサリを製作しています。原料の植物の特徴を活かして、丁寧に手作業で作られる作品はどれも世界に一つだけの一点物。和紙のモチーフはとてもしゃんと、耳が痛くなりにくいのも魅力。手作りの温もりや、やわらかな質感が伝わる新しい出雲民藝紙の姿です。



野津 智恵子さん

城下町の職人技が光る

松江のおみや

何気ない一日を 彩るお茶

契約茶畑で丁寧に育て、経験豊富な茶師が厳選した高質な茶葉。その選り抜かれた茶葉を独自の製法でブレンドし、誰にも真似のできない味を作り上げました。封を切ると芳醇な茶葉の香りが漂います。「朝のお茶」は忙しい朝でも手軽に淹れられる熱湯玉露で、まろやかな味わいが特徴。「昼のお茶」は煎茶の持つ旨み・甘みを強く感じられる、午後のティータイムにぴったりのお茶。「夜のお茶」は紅茶のように香り高く、やさしい甘み特徴のウーロン茶。その日の疲れを癒やしてくれます。家で過ごす時間が増えた今、日常のシーンにあわせてお茶を淹れる時間を楽しんでみてはいかがでしょうか。



※おみややおみやげの略称は朝庭の女房こと江戸の女性こと江として広まりました。

見事なキレ味の 辛口純米吟醸

明治7年創業、城下町松江の宍道湖畔に蔵を構える國暉酒造。宍道湖に臨む仕込蔵は松江藩主松平家の土蔵を譲り受け、移築改造したもので、数百年の大梁の下、造り続けられた酒の系譜が今日の國暉の味わいになっています。「無濾過純米吟醸國暉720ml」は厳選された島根県産の酒造好適米「佐香錦」を活性炭炭



素濾過を行うことなく瓶詰めしています。濾過することで奪われてしまう「佐香錦」本来のシャープでキレのある風味を最大限に残し、心地よい喉越しを感じさせる辛口に仕上げました。冷やすとキリッと、燗をとまろやかな味わいをお楽しみいただけます。



無濾過 純米吟醸 國暉 (720ml)
1,600円(税抜)

【取扱店】
○鳥取駅のおみやげ楽市
○米子駅のおみやげ楽市
○松江駅のおみやげ楽市

國暉酒造株式会社
島根県松江市東茶町8番地
☎0852-25-0123
http://www.kokki.jp/



岩橋 弘樹さん

漁師たちが 愛育した 『くにびき鮎』



国引き神話の舞台、島根半島の漁村で働く男たちが手塩にかけて丁寧に育てた「くにびき鮎」。カゴ吊り養殖で地元の特産品でもある海藻類を与えて育てられた鮎は、弾力がある食感が特徴です。塩辛はシンプルに食塩だけでしっかりと味付けし、後味に磯の風味が広がります。アヒージョはあわびの塩辛にオリーブオイルとにんにく、鷹の爪を使って風味をつけ、スペイン料理風に食べやすく仕上げました。ご飯にのせてもよし、ワインや日本酒のおつまみとしてもお召し上がりいただけます。



【取扱店】
○米子駅のおみやげ楽市
○松江駅のおみやげ楽市

あわび 塩辛 (80g) 1,500円(税抜) ★ ※要冷蔵

あわび 塩辛アヒージョ (80g) 1,800円(税抜) ★ ※要冷蔵

松江市本庄地区は県内でも有数の西条柿の産地です。中海からの潮風と寒暖差のある土壌で栽培された西条柿は鮮やかなオレンジ色で、甘みが強く、渋抜きした合せ柿は、進物用として全国から注文が入るほどの人気があります。本来、日持ちさせることが難しいこの合せ柿を、フリーズドライに仕上げることで長期保存を可能にし、より多くの方に提供できるようにしました。柿の色、味、香りなどを損なわず素材そのものの美味しさをお楽しみいただけます。フリーズドライならではサクサクとした食感で、おやつとしても、ヨーグルトにトッピングするのもおすすめです。



安部 寿鶴子さん

道の駅本庄企業組合
島根県松江市野原町401-8
☎0852-34-1528
http://michinoeki-honjou.jp

【取扱店】
○鳥取駅のおみやげ楽市
○米子駅のおみやげ楽市
○松江駅のおみやげ楽市

西条柿フリーズドライ

「果らり」(15g) 300円(税抜) ★

※表面に黒く見えるのは西条柿の成分タンニンです。



柿の良いとこ ギュッと凝縮



お殿様の紋を あしらった 松江城最中

2015年に国宝に指定され、山陰随一の名城として知られる松江城。この歴史的価値の高い松江城を多くの方にもっと知ってもらおうと「松江城最中」は誕生しました。皮には松江開府の祖、堀尾吉晴公が数々の功績により豊臣秀吉から賜った「一分銅紋」をあしらいい、中には、丁寧にふっくらと炊き上げた大納言小豆がたっぷり詰まっています。皮はパリッと香ばしく、あんの甘みが口の中いっぱい広がります。日本茶や珈琲にはもちろんのこと、ウイスキーとも相性がよい絶品最中です。



【取扱店】
○米子駅のおみやげ楽市
○松江駅のおみやげ楽市

菓子老舗 桂月堂
島根県松江市天神町97
☎0852-21-2622
https://www.keigetsudo.jp/



小西 伸明さん

松江城最中(3個)
630円(税抜) ★



山陰のいいもの
今すぐお買い求めいただけます

おみやげ楽市 楽天 検索



※おみやげ楽市はJR西日本山陰開発(株)が運営するおみやげ店の商標です。



左記マークのついた商品につきましては、JR駅構内の店舗などで取り扱っております。★の付いた商品は軽減税率対象商品です。